

Infinium Mouse Methylation Array 受託サービスサンプル提出ガイドライン

連絡先: info@genetics-n.co.jp

Diagenode WEBサイト: <https://diagenode.co.jp/product-info/infinium-epic-array-service>

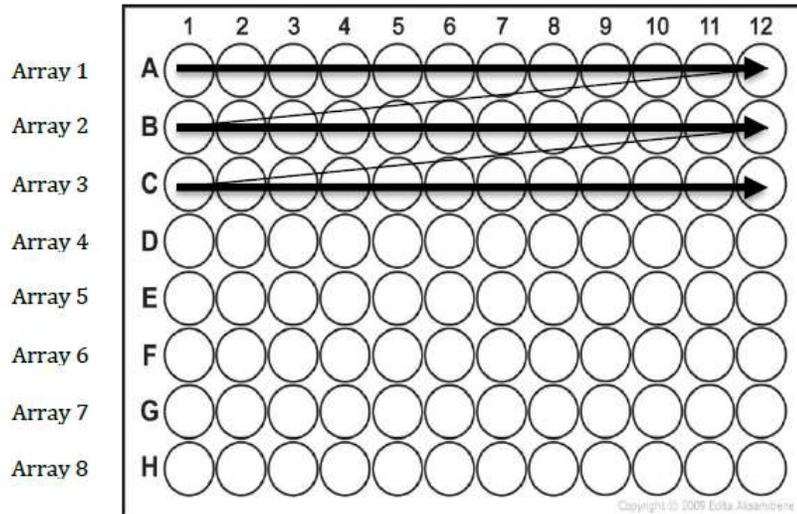
1. ゲノム DNA の単離

- 使用する DNA のクオリティは非常に重要であるため、市販のキットを使用することを強く推奨します。
- 提出するゲノム DNA はタンパク質を含まないものでなければなりません。そのため、DNA 抽出方法にかかわらず、Proteinase K 処理は必須となります。
- RNase 処理後、Diapure カラム (Diagenode, C03040001) などのカラムを使用して DNA 精製を行うことを推奨します。
 - * 上記精製の際は、AMPure Beads などのビーズは使用しないでください。
- 高分子量の DNA は断片化する可能性があるため、ボルテックスを行わず、ピペッティングで混合してください。

2. ゲノム DNA の定量と調製

- 二本鎖 DNA の濃度は、Picogreen や Qubit アッセイのような蛍光色素を使用する方法で定量を行ってください。Nanodrop のような分光光度計は、濃度を過大評価する傾向があるため、正確な二本鎖ゲノム DNA の濃度を定量できない可能性があります。
- 各サンプルを 0.8% アガロースゲルで電気泳動し、ゲノム DNA が分解されていないか確認することを推奨します。
- 24 検体以上のサンプルをご提出される場合は、96 ウェルプレートでのご提出が必須となります。
 - 24 検体未満のサンプルをご提出される場合は、各サンプルを判別できるように、各チューブにラベルを付けていただけますと、シングルチューブ（全て同じ種類のチューブをご使用）でのご提出することが可能です。
- サンプル濃度は 20 ng/μL でご提出ください（最低濃度は 10 ng/μL となります）。
- アレイにロードする際と同様に、サンプルを整理／グループ化してください。

その際偏りを最小限にするため、異なるアレイ内で検体が無作為な配分となるようにしてください。例えば、アレイ 1 にコントロール検体を、アレイ 2 に処理検体をすべてロードすることは避けてください。



- 1 µg 以上（最低量 500 ng）の DNA をご提出ください。

3. 発送準備

- 1.5 mL チューブまたは 96 ウェルプレートに gDNA サンプルを準備し、Sample ID Sheet の内容と相違が無いように注意してラベルを貼ってください。
- サンプルは、ドライアイスまたは冷蔵便（4℃）で発送することができます。
- 記入済みの Sample ID Sheet.xlsx と Biosafety form.doc ファイルを印刷して、サンプルと一緒に同梱してください。

■ サンプルの発送先

日本ジェネティクス株式会社 本社・営業部 宛
住所：〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 18 階
電話番号：03（3813）0961

〈ご発送時の連絡について〉

ご発送の準備が整いましたら、荷受けの準備が必要となりますので、info@genetics-n.co.jp まで、以下の情報をお知らせください。

- 1)ご所属・ご氏名
- 2)発送日
- 3)追跡番号（運送会社）

■ ご発送時の注意点

- 1) 冷凍便（-20℃）にてお送りください。
- 2) 日本ジェネティクス株式会社の営業日は、土日祝日・年末年始を除く平日午前9時から午後5時までとなります。
*土日を含んだ発送は、リスクがあるためお控えください。
- 3) ご発送者様の元払いで上記営業時間内に日本ジェネティクス株式会社に到着するようお送りください。
- 4) 輸送時のトラブルに関しましては、日本ジェネティクス株式会社ではその責任を負いかねます。
- 5) 本確認事項を満たさないことで別途費用が発生した場合は、お客様に費用のご負担をお願いいたします。